

## 旭化成グリーン・ボンド 年次レポート（2021年度）

当社は2020年6月に水力発電所改修工事費用を用途とするグリーンボンドを発行し、調達資金の充当状況および環境改善効果を年次で公表することとしております。

2021年度（2021年4月～2022年3月）の状況は以下の通りです。

### 1.対象事業について

当社は現在、大正時代に建設した水力発電所による電気を当社延岡地区の工場群へ送電し、事業活動に活用しています。今回の水力発電設備改修工事は、老朽化および耐震性の点から、寿命が到来しつつある水力発電設備を更新し、あわせて高効率化することにより、今後数十年から百年に亘る、再生可能エネルギーの更なる利用を実現するものです。

旭化成グリーンボンドは、当社が所有する五ヶ瀬川発電所および馬見原発電所、二カ所の水力発電所<sup>\*</sup>の改修工事費用を対象としています。なお、完工予定に変更が生じています。五ヶ瀬川発電所は、コロナ禍の影響により当初計画2021年10月完工から2022年4月完工（2022年5月営業運転開始）。馬見原発電所は、建屋等工事計画変更により工期が12か月延伸し、2023年9月完工予定となっています。<sup>\*</sup>旭化成延岡地区における水力発電所改修について

事業カテゴリー	適格事業	プロジェクト	発電所形式	改修後最大出力	完工予定
再生可能エネルギー	水力発電設備	五ヶ瀬川発電所	流れ込み式	14.5MW	2022年4月
		馬見原発電所		5MW	2023年9月

### 2.資金充当状況と環境改善効果

#### 2.1資金充当状況（2022年3月末時点）

2021年度までに、調達資金のうち55億円を充当しました。残りの調達資金については、2023年度末までに充当を完了する予定です。

	調達金額（億円）	充当金額（億円）	未充当額（億円）	充当完了時期
五ヶ瀬川発電所	100	47	45	2023年度末
馬見原発電所		8		

#### 2.2環境改善効果

2021年度においては、資金用途プロジェクト2件は未稼働ですが、稼働後は1年間あたり以下のCO2削減効果を見込んでおります。

	改修後水力発電設備発電容量（MW）	*CO2排出削減量（ton-CO2e）	水力発電総容量（MW）
五ヶ瀬川発電所	14.5MW	4.0万ton	56.4MW
馬見原発電所	5MW	1.1万ton	

\*CO2削減効果=年間発電量(kWh)×CO2排出係数(kg-CO2/kWh)

CO2排出係数：九州電力のCO2排出係数（2020年度実績）

なお、本レポート実施にあたっては、Sustainalyticsよりレビューを受けています。

[日本語](#)

[英語](#)